

1 題材について

対象学年	小学校 第5学年
学習指導要領	第5学年及び第6学年の内容（3）ア、イ、ウ
題材名	「わくわくソーイング」（全12時間）
題材目標	<p>布を用いた生活に役立つ物の製作に意欲的に取り組み、製作した物や身に付けた技能を活用しようとする。</p> <p style="text-align: right;">（家庭生活への関心・意欲・態度）</p> <p>自分や家族の生活に役立つように、製作する物や大きさ、形、材料、縫い方を工夫することができる。 （生活を創意工夫する能力）</p> <p>ミシン、アイロン、待ち針など製作に必要な用具を安全に適切に使い、ミシンの直線縫いを取り入れて、生活に役立つ物を製作することができる。 （生活の技能）</p> <p>ミシン縫いの特徴や縫い方、製作に必要な用具の安全で適切な使い方、製作手順が分かる。 （家庭生活についての知識・理解）</p>
配慮事項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫</p> <p>題材指導計画上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作する物は次のような理由からエプロンか巾着袋にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・縫い端のしまつが三つ折りなので、アイロン、待ち針、しつけ縫いといった製作に関する基礎的な技能を同時に学習することができる。 ・初めてミシン縫いを学習する子どもたちにとって難しすぎることがなく、また布から作品への変化が大きいので、作る楽しさを味わうことができる。 ・生活で活用できる機会が多く、使う楽しさを味わうことができる。 ・1単位時間を弾力的に使い、児童が十分に活動できるようにする。 ・題材の前半部分は、主に製作に関する基礎的な技能や事項を学習し、第8時から学習したことを使って自分で製作を進める流れにする。 <p>単位時間における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習形態はペアや作る物別グループとし、学び合いを行いやすくする。 ・エプロンや巾着袋の作り方は児童自身が段階見本などから調べることができるようにし、基礎的・基本的な内容について教師がかかわっていくようにする。
参考資料	資料1 製作プリント

2 題材の評価規準

	ア 家庭生活への関心・意欲・態度	イ 生活を創意工夫する能力	ウ 生活の技能	エ 家庭生活についての知識・理解
内容のごまとのま 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 布を用いた生活に役立つ物の製作に関心を持ち、製作し、活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 布を用いた生活に役立つ物の製作について考えたり、自分なりに工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 布を用いた生活に役立つ物の製作に関する基礎的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 布を用いた生活に役立つ物の製作に関する基礎的な事項について理解している。
題材の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 生活に役立つ物を布を用いて製作することに興味を持っている。 製作に必要な材料や用具等を準備し、製作しようとしている。 製作する楽しさや活用する喜びを味わおうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活での布の活用について見直し、製作する物や製作計画について考えたり、自分なりに工夫したりしている。 ミシン縫いを取り入れ、縫い方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ミシンの直線縫いを用いて生活に役立つ物を製作することができる。 製作に必要な用具の安全な取扱いができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作に必要な材料や用具が分かり、製作手順や時間の見通しを理解している。 ミシンの使い方を理解している。 製作に必要な用具の安全な取扱い方を理解している。
単位時間における 具体の評価規準	<p>ミシン縫いに関心を持ち、進んでミシン縫いの特徴を調べたり、ミシンを動かしたりしている。</p> <p>製作のめあてをもち、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>製作の楽しさや活用する喜びを味わい、製作物や身に付けた技能を活用していこうとしている。</p>	<p>自分や家族の生活に役立つように、作る物を決め、大きさ、縫い方、布の色や柄、飾りを工夫することができる。</p> <p>縫う箇所に合った縫い方を工夫することができる。</p>	<p>ミシン縫いの準備や片付けができる。</p> <p>ミシンを用いて、直線縫いができる。</p> <p>縫い代や布の向きを考えて裁断し、出来上がり線のしるしを正しく付けることができる。</p> <p>製作に必要な用具を安全に適切に使うことができる。</p>	<p>ミシン縫いの準備や操作の仕方を理解している。</p> <p>製作に必要な材料や用具、製作手順を理解している。</p> <p>製作に必要な用具の安全で適切な使い方を理解している。</p>

3 指導と評価の計画（全12時間）

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	ミシン縫いのよさや楽しさが分かり、ミシンの操作に関心をもつことができる。	<p>身の回りでミシン縫いが使われている物を発表する。</p> <p>ミシン縫いのよさをみつけよう</p> <p>手縫いとミシン縫いの見本を観察して、縫い方の特徴や違いを調べる。</p> <p>ミシン縫いは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縫い目の大きさが同じ。直線。 ・間があいていない。 ・ほどこにくい。 ・糸が2本ある。 <p>簡単なミシンの操作方法を知り、上糸、下糸、布がセットしてあるミシンで、直線縫いを試す。</p> <p>ミシン縫いのよさについて分かったことや思ったこと、できるようになりたいことを発表する。</p>	<p><アー ></p> <p>ミシン縫いに関心をもち、進んでミシン縫いの特徴を調べたり、ミシンを動かしたりしている。</p>	<p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縫い方の特徴や違いを進んで調べ、ミシン縫いの特徴を自分なりにまとめているか。 <p>学習プリントの記述内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシン縫いのよさについて具体的に書かれているか。 	<p>手縫いとミシン縫いの見本を用意する。小物作りの経験を思い出させる。</p> <p>見る時は、ミシンを使っている人やミシンに触れないように気を付けさせる。</p> <p>ミシン縫いのよさを見付けることができた点を価値付ける。</p>
2	針の付け方や縫い目の大きさ、速さ、向きの変え方が分かり、安全に気を付けてミシンを操作することができる。	<p>ミシンの準備や操作が安全に正しくできるようになろう</p> <p>ー針をつけて動かしてみようー</p> <p>ミシンを出し、ミシン針の付け方やはずし方を練習する。</p> <p>から縫いで、ミシン操作の仕方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縫い始め 針 押さえ金 ・縫い目の大きさを変える。 ・縫う速さを変える。 ・縫う方向を変える。 ・返し縫いをする。 <p>から縫いの紙を見合う。</p> <p>感想を交流し、ミシン縫いカードを使って振り返りをする。</p>	<p><ウー ></p> <p>ミシン縫いの準備や片付けができる。</p>	<p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・針を正しく付けているか。 ・安全に気を付けてミシン操作を練習しているか。 <p>ミシン縫いカード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目のチェックの様子 	<p>ミシン縫いカードで学習する項目をはっきりさせる。</p> <p>から縫い練習紙を用意する。</p> <p>ペアの子と教え合ったり、確かめ合ったりしている姿を価値付ける。</p> <p>ミシン操作で危険なやり方をしている児童やうまく操作できない児童には個別指導する。</p> <p>縫い目が線からずれないように意識させる。</p>

3	<p>糸のセットの仕方や直線縫いの仕方、糸調節の仕方が分かり、安全に気を付けてミシンを操作することができる。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ミシンの準備や操作が安全に正しくできるようになるよう 糸をセットしてぬってみよう</p> <p>上糸、下糸のセットの仕方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下糸の巻き方、セットの仕方 ・上糸のかけ方 ・下糸の出し方 <p>直線縫いを練習する。</p> <p>直線縫いをした布を見合う。</p> <p>感想を交流し、ミシン縫いカードを使って振り返る。</p>	<p><エー ></p> <p>ミシン縫いの準備や操作の仕方を理解している。</p>	<p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下糸や上糸を正しくセットしているか。 ・安全に気を付けてミシンの操作を練習しているか。 <p>ミシン縫いカード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目のチェックの様子 作品 ・まっすぐ縫えているか。 	<p>ミシン縫いカードで学習する項目をはっきりさせる。</p> <p>ペアの子と教え合ったり、確かめ合ったりしている姿を価値付ける。</p> <p>ミシンの持ち運び、上糸、下糸のセットの仕方、作業台の整理等安全に作業できるように指導する。</p> <p>から縫いの練習を思い出させ、こつをつかむようにする。</p>
4	<p>自分が作る物を決め、大きさ、縫い方、布の色や柄、飾りを工夫したり、手順や材料、用具を考えたりして、製作の見通しをもつことができる。</p>	<p>自分が作りたい物を発表する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分が作る物の製作計画を立てよう</p> <p>自分が作る物の大きさ、縫い方、布の色や柄、飾りなどについて、計画表に具体的にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙で作る。 ・作品段階見本で調べる。 <p>製作手順と作業に必要な材料、用具を考える。</p> <p>自分が作る物や感想（分かったこと、思ったこと、工夫すること）を交流し、振り返りをする。</p>	<p><イー ></p> <p>自分や家族の生活に役立つように、作る物を決め、大きさ、縫い方、布の色や柄、飾りなどを工夫したりしている。</p> <p><エー ></p> <p>製作に必要な材料や用具、製作手順を理解している。</p>	<p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使う目的に合った大きさや縫い方、好みの色や柄、飾り等を見付けている。 <p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作に必要な材料や用具、手順をまとめている。 計画表 ・記述内容 工夫点を具体的に記入しているか。 	<p>エプロン、巾着 袋から作る物を決めさせておく。</p> <p>作る物別グループにする。</p> <p>作品段階見本、計画表を用意する。</p> <p>計画表が具体的でない児童には作りたい物について尋ね、願いをはっきりさせたり、仲間の工夫の仕方に着目させたりする。</p> <p>飾りは後からでもよいことを話す。</p> <p>小物作りでの手順や使った用具を思い出させる。</p> <p>作る物の大きさや縫い方、布の色や柄等が生活に役に立つように選んでいることを価値付ける。</p>

5	<p>計画通りの大きさに作るために、縫い代を加えて布を裁ち、出来上がり線のしるしを正しくつけることができる。</p>	<p>計画した大きさを布を裁断して作った見本から、縫い代の必要性を話し合う。</p> <p>縫い代を加えて布を裁ち、縫う時に必要なしるしをつけよう</p> <p>裁断の仕方や出来上がり線の付け方を話し合う。</p> <p>各自用意した布に応じて、裁断、しるし付けをする。</p> <p>裁断、しるし付けをした布を見合う。</p> <p>感想を交流し、振り返りをする。</p>	<p><ウー ></p> <p>縫い代や布の向きを考えて裁断し、出来上がり線のしるしを正しく付けることができる。</p> <p><ウー ></p> <p>製作に必要な用具を安全に適切に使うことができる。</p>	<p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> 縫い代を加え、布の縦方向にむだが出ない取り方をしているか。 布の裏に正しく出来上がり線を付けているか。 <p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に裁ちばさみや待ち針を使っているか。 <p>作品</p> <ul style="list-style-type: none"> 裁断やしるしの付け方が適切か。 <p>製作プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> 記述内容 <p>裁断の仕方、しるし付け等について記述されているか。</p>	<p>縫い代なしで作った作品見本を準備する。</p> <p>裁断、しるし付けの仕方を示範し、安全で正しいやり方をつかませる。</p> <p>布のとり方や付けたしるしは良いかペアで確かめ合うようにする。</p> <p>一つ一つの作業を確かめながら製作していくようにさせる。</p> <p>出来上がり線が縫いしるしを加えてしるし付けがされていることを確認する。</p>
6 60分	<p>きれいに作るために、安全に気を付けてアイロンや待ち針を使ったり、しつけをかけたりすることができる。</p>	<p>縫う箇所と縫い代を発表する。</p> <p>きれいに縫うために使うとよい用具を発表する。</p> <p>きれいに作るために、安全に気を付けてアイロンや待ち針を使ったり、しつけをかけたりしよう</p> <p>用具の使い方を話し合う。</p> <p>作る物別グループで段階見本で作り方を確かめ、作業に入る。作業の様子を隣同士で見合う。</p> <p>感想を交流し、振り返りをする。</p>	<p><ウー ></p> <p>製作に必要な用具を安全に適切に使うことができる。</p> <p><エー ></p> <p>製作に必要な用具の安全で適切な使い方を理解している。</p>	<p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> しるし通りに折り目を付け、ミシン縫いの辺りをしつけているか。 安全に用具を使ったり、しつけをかけたりにしている。 <p>製作プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> 記述内容 <p>アイロンや待ち針の使い方、しつけ縫いの方法等について記述されているか。</p>	<p>作品段階見本 三つ折り縫い見本</p> <p>アイロン、待ち針、しつけのやり方を示範し、安全で正しいやり方をつかませる。見本で確認させる。安全なやり方を個別指導する。</p> <p>安全に気を付けてアイロンを扱ったり、待ち針の打ち方やしつけ縫いが正しくできた姿を価値付ける。</p>

7	<p>三つ折り縫いをきれいに丈夫に縫うことができる。</p>	<p>三つ折りにしたところをきれいに、丈夫に縫おう</p> <p>三つ折りの縫い方を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシン縫いの位置 ・縫い始め、縫い終わり <p>返し縫いの丈夫さを確かめる。</p> <p>ミシン縫いをする。</p> <p>縫った箇所を見合う。</p> <p>感想を交流し、振り返りをする。</p>	<p><ウー ></p> <p>ミシンを用いて直線縫いができる。</p>	<p>作品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端の方をまっすぐ縫っているか。 ・始めと終わりを返し縫いし、糸端を始末しているか。 <p>製作プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述内容 <p>三つ折りの縫い方について記述されているか。</p>	<p>三つ折り縫いの見本や返し縫いの見本を準備する。</p> <p>三つ折り縫いを示範する。</p> <p>縫い始めの位置にチャコペンでしるしを付けさせる。</p> <p>返し縫いによって丈夫になっている箇所を確認する。</p>
8 9	<p>きれいで丈夫な縫い方を工夫しながら、製作を進めることができる。</p>	<p>自分の製作計画に沿って、きれいに丈夫に作っていこう</p> <p>自分が縫う箇所とめあてを発表する。</p> <p>作り方を見本で調べたり、友達に確かめたりしながら縫う。</p> <p>縫った箇所を見合う。</p> <p>自分のめあてに沿って振り返りをする。</p>	<p><アー ></p> <p>製作のめあてをもち、意欲的に取り組んでいる。</p> <p><ウー ></p> <p>ミシンを用いて直線縫いができる。</p> <p><イー ></p> <p>縫う箇所に合った縫い方を工夫することができる。</p>	<p>観察・作品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作態度 <p>製作計画に沿って主体的に作業をしているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しるしの上をまっすぐ縫っているか。 ・丈夫にしたい部分では、返し縫いや二度縫いをしたりしているか。 <p>製作プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述内容 <p>きれいに丈夫に作ることにについて具体的に記述されているか。</p>	<p>作品段階見本</p> <p>三つ折り縫い見本、返し縫い見本を用意する。</p> <p>前時の様子から、手本になる態度や縫い方を紹介し、見通しや意欲を高める。</p> <p>前時の様子から作業の遅れている児童には、個別指導に当たるようにする。</p> <p>作品の目的や縫う箇所に合った縫い方を価値付ける。</p>
10 11	<p>きれいで丈夫な縫い方を工夫しながら製作をすすめ、作</p>	<p>自分の製作計画に沿って、きれいに丈夫にしあげよう</p> <p>自分が縫う箇所とめあてを交流する。</p>	<p><アー ></p> <p>製作のめあてをもち、意欲的に取り組んでいる。</p>	<p>観察・作品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作計画に沿ってしあげを見通しながら作業をしてい 	<p>作品段階見本</p> <p>三つ折り縫い見本、返し縫い見本、完成見本を用意する。</p>

	<p>品をしあげることができきる。</p>	<p>きれいで丈夫になるよう友達と交流しながら作業を進める。</p> <p>しあげの方法を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縫い残しの点検 ・糸の端のしまつ ・アイロンかけ <p>グループで教え合ったり、段階見本、完成見本等をもて作業を進める。</p> <p>自分のめあてに沿って振り返りをする。</p> <p>全体で交流し、きれいに丈夫に縫うこつを確認する。</p>	<p><ウー > ミシンを用いて直線縫いができる。</p> <p><イー > 縫う箇所にあった縫い方を工夫することができる。</p>	<p>るか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しるしの上をまっすぐ縫っているか、縫い残しはないか等確認しながら作業を進めているか。 ・糸の端のしまつをしたり、しあげのアイロンをかけたりにしているか。製作プリント ・記述内容 きれいで丈夫に縫う方法、しあげの仕方等について具体的に書かれているか。 	<p>前時の様子から、手本になる態度や縫い方、糸のしまつの仕方等を紹介し、見通しや意欲を高める。</p> <p>前時の様子から、作業の遅れている児童やミシン操作に慣れていない児童には、個別指導とともに、グループでの教え合いを促すようにする。</p> <p>糸の端のしまつ等まで丁寧に行った作品を紹介して価値付ける。</p>
12	<p>作る楽しさや使う喜びを味わい、これからも大切に使用したり、作ったりしていかうとする意欲をもつことができる。</p>	<p>仕上がった作品を紹介しあおう</p> <p>生活グループで作品を紹介しあう。</p> <p>発表者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作や活用の感想や反省、家族に取材したこと <p>聞き手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問、感想、作品のよさなど <p>題材を通して、分かったこと、できるようになったこと、交流などから生活に生かしたいことを学習プリントにまとめ、発表する。</p>	<p><アー > 製作の楽しさや活用する喜びを味わい、製作物や身に付けた技能を活用していかうとしている。</p>	<p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作過程の苦労や工夫、楽しさや作品に対する喜び等を話しているか。 ・製作者の苦労や工夫、楽しさを聞こうとしているか。 <p>発言・学習プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言・記述内容 身に付けた技能や作品の生活への生かし方を発言したり書いたりしているか。 	<p>作品を使ったり、家族に感想を聞いたりしておくようにする。</p> <p>製作時や完成時の写真を用意する。</p> <p>生活に生かそうとする意欲を価値付ける。</p>

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

きれいに作るために、安全に気を付けてアイロンや待ち針を使ったり、しつけをかけたりすることができる。

(2) 本時の位置 6 / 1 2 時 (60分授業)

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
	<p>最初に縫う箇所と縫い方を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横を二つ折りして、口を三つ折りする。 ・胸の所を三つ折りにして縫う。 <p>きれいに布を折ったり、ミシン縫いをしたりするために使うといい用具を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイロン ・待ち針 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>きれいに作るために、安全に気を付けてアイロンや待ち針を使ったり、しつけをかけたりしよう</p> </div> <p>用具の使い方を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイロンは布に合った温度にする。 ・熱いので触らない。 ・アイロンは立てておく。 ・お母さんがしつけをやっているのを見たことがある。 <p>作る物別グループごとに段階見本で作り方を確かめ、作業に入る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つ折り、三つ折り 待ち針 しつけ <p>作業の様子を隣同士で見合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布の折り方やしつけの様子、進みぐあいはどうか。 ・用具が安全に使えているか。 <p>作業を続ける。</p> <p>感想を交流し、振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイロンを使ったら、簡単にきれいに折ることができた。 ・待ち針をとめる時は、向きを上にして、正しくとめることができた。 ・しつけは初めてやったけど、ちょっと大変だった。 ・すその部分もできた。次はミシン縫いなのでがんばりたい。 	<p><ウー > 評価規準 製作に必要な用具を安全に適切に使うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価方法 作業の様子 (しるし通りに折り目を付け、ミシン縫いの辺りをしつけている。安全にアイロンや待ち針を使ったりしつけをかけたりしている。) <p><アイロン></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手や顔を近づけない。(やけど) ・使わない時はスイッチを切る。 ・立てておく。(火事) ・布に合った温度にする。 <p><待ち針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・針先を向こうにさす。 <p><しつけ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・針を抜く時は腕をいっばいに伸ばさない。針先を下向きにする。 <p>製作プリント 記述内容(アイロンや待ち針の正しい使い方やしつけの仕方について書かれている。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三つ折りにするよさが実感できるように見本を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・アイロン、待ち針、しつけのやり方を示範し、安全で正しいやり方をつかませる。 <p>Bを実現するための手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布の折り方、待ち針の向き、しつけの位置や縫い目を見本で確認させる。 ・アイロンの扱い方、待ち針の刺し方が適切でない児童には、手をとって指導するなど個別に対応する。 <p>Aへ高めるための手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ていねいできれいな作業ができる児童の作品を提示したり、能率よく作業ができる児童からコツを引き出し、示したりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・三つ折りが正しくできたこと、用具が安全に使えたことを価値付ける。 ・能率よくていねいに作業を進めた児童の取組を紹介する。

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

< ウー >

きれいに作るために、安全に気を付けてアイロンや待ち針を使ったり、しつけをかけたりすることができる。

(2) 評価の実際

【評価の方法】

本時は、アイロン、待ち針、しつけといった製作にかかわる基礎的な技能の習得をめざす時間である。児童は、手縫いの小物作りの学習で、針の扱い方や縫い方について学習しているが、まだまだ十分とはいえない。また、アイロンを使うことや待ち針で布をとめることは初めての学習内容になる。そこで本時は、作業に入る前にまず教師が示範を行い、アイロン、待ち針、しつけ縫いの安全で正しいやり方を、児童が具体的につかめるようにする。そして作業では、途中隣同士で作業の様子を確かめ合ったり、振り返りでめあてに沿って自分の作業の様子を見直したりすることで、学習の過程においても課題を意識して活動できるようにした。

教師の評価は、作業中の観察と振り返りの記述内容から行う。アイロン、待ち針、縫い針を安全に使い、しるし通りに折り目を付け、ミシン縫いの辺りをしつけている児童を「B おおむね満足できる」状況とし、更に、きれいに能率良く作業を進めている児童を「A 十分満足できる」状況とする。その他で、例えば「しつけ縫いはミシン縫いがずれないための仮どめだから、縫い目はあまり細かくしなくてよい。後からとるから、ミシン縫いの位置より少し離れた位置にする。」というように、役目を理解して作業を進めている児童については、知識・理解の評価とし、別でとらえていくようにする。なお、児童は、本時の学習内容を次時からも使っていくので、次時以降も児童の様子をとらえ、伸びを大切にしながら判断していく。

【判断した児童の状況例】

・「おおむね満足できる」状況と判断した例

Aさんは、安全に気を付けて慎重にアイロンを使い、三つ折りができた。待ち針は針先が向こうになるようにとめ、しつけは1針ごとのさし縫いではあるが、針を抜く時は腕を大きく伸ばさず手首をかえして、針先が周りの人の危険にならないようにしていた。また、しつけ縫いの位置が適切で縫い目の大きさもそろっていたので「B おおむね満足できる」状況と判断した。

・「十分満足できる」状況と判断した例

Bさんは、アイロンを布に合った温度に調節するなど安全に気を付けて作業を進め（授業展開例 評価参照）できばえがきれいであった。更に、しつけ縫いの様子を見てみると、しつけが終わった箇所から待ち針を抜いて針山に戻し、能率のよい作業となっていた。そこで、「A 十分満足できる」状況と判断した。

(3) 個に応じた指導の実際

ー「努力を要する」状況から「おおむね満足できる」状況へ高めるための指導の実際ー

本時は、この段階の指導を中心に行うようにした。Cさんは、作業にさっと取りかかれなことがあり、作業が遅れがちであった。また、小物作りの学習では、しるし通りに切ったり、縫い目の大きさをそろえて縫ったりすることが難しかったので、まずCさんの様子を見ることとした。アイロンは安全に気を付けて使っていたので、それでよいことを押さえた。しかし、アイロンの押さえが弱く、折り目がしっかり付かなかったり、折り幅が端の方にいくと細くなったりしていたので、同じ幅に実際に折ってみせ、もう一度やってみるように助言した。Cさんは折り幅にも気を付けながら作業することができた。

Dさんは、しつけを端から離れた位置にやっていた。そこで、「折った所がぺらぺらするね。きれいにミシン縫いをするにはどこをしつけするといいたろう。見本と自分の縫い位置を比べてみよう。」と声をかけ、見本で確認させた。Dさんは、しつけの適切な位置をつかみ、直していくことができた。

児童の作業の様子を見ると、アイロンやしつけ縫いを不自然でやりにくい姿勢で行っていたり、針を抜く時に腕をいっぱい伸ばし、針先を上に向けていたりする児童も少なくない。危険なやり方をしている児童には、具体的に個別指導するとともに、全体指導やアイロンの配置の仕方・掲示物など教室感環境の整備を行い、安全なやり方が確実に身に付くようにしていく必要がある。

ー「おおむね満足できる」状況から「十分満足できる」状況へ高めるための指導の実際ー

Eさん、Fさんは、アイロンや針の使い方に慣れていて作業を手早く進めていた。しかし、折り幅が一定していなかったり、しつけが雑になったりしていたので、「きれいに作るために」という本時のめあてを意識させ、ていねいな作業を心がけることを助言した。全体では、Bさんのような能率のよい作業の進め方やていねいできれいな作業を広めていくことで、児童を高めていくようにした。

名前

わくわくソーイング生活に役立つ物を作ろう

作る物

できあがり図

こんなのが作りたい。

工夫したいことは・・・

できたら、こんなふうを使うんだ。

時間	やること	必要な材料・用具	ふりかえり	めあて	安全
1	製作計画を立てる				
1					
6					
1	しあげ 作品交流会				

